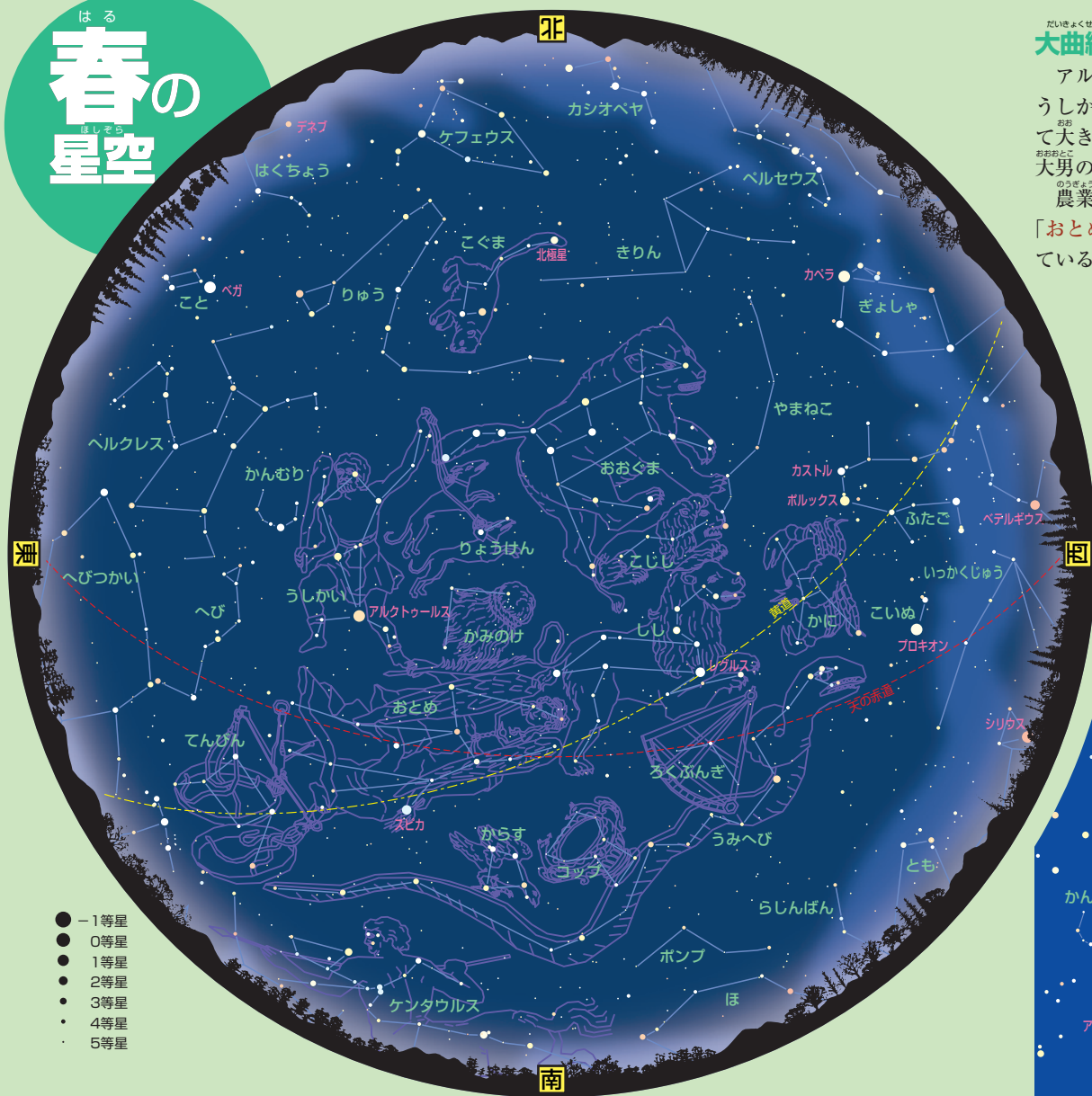


はる  
**春の**  
はしそら  
**星空**



- -1等星
- 0等星
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

この星空が見える日時

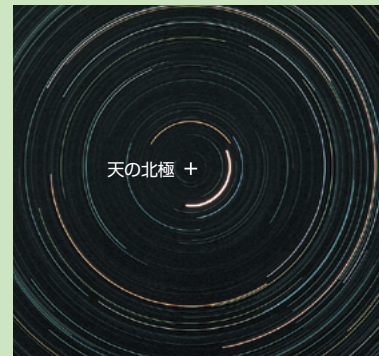
- 1月中旬 午前 4時
- 2月中旬 午前 2時
- 3月中旬 午前 0時
- 4月中旬 午後 10時
- 5月中旬 午後 8時

春の星空でまず目にとまるのは、北の空高く昇る「**北斗七星**」です。スプーンのような形に7つの星がならんでいるので、すぐに見つけることができます。カーブしたスプーンをそのまま延長していくと、オレンジ色の明るい星アルクトゥールスを経て、白く明るい星スピカにたどり着く「春の大曲線」を描くことができます。

大曲線から始まる春の星座探し

アルクトゥールスは「うしかい座」の星です。うしかい座は2匹の犬（りょうけん座）を連れて大きな熊（おおぐま座）を追い払う牛飼いの大男の姿を星座にしたものです。

農業と豊作の女神デメテルの姿を星座にした「おとめ座」の中で、彼女の持つ麦の穂で輝いている白い星がスピカです。スピカという名は



夜空の星は「天の北極」中心に回っています。天の北極の真下が真北ということになります。



しし座のレグルスは「小さな王」という意味です。

「麦の穂先=とがったもの」を意味しており、スパイクという言葉のもとにもなりました。おとめ座は正義の女神アストレイアの姿だとする説もあり、その足元には人間の正義や善悪を計るための「てんびん座」があります。

南の空高いところに昇っているのは、人喰いライオンの姿をした「しし座」です。目じるしは草刈り鎌のようなならびで「ししの大がま」と呼ばれています。

レグルスとデネボラの2つの明るい星があり、このデネボラと、うしかい座のアルクトゥールス、おとめ座のスピカをつなぐと大きな三角形が現れます。これは「春の大三角」といって、「春の大曲線」とともに春の夜空の見どころのひとつと言えるでしょう。

しし座の頭の先には「かに座」があり、しし座と地平線との間には「うみへび座」が長い体を横たえています。この3匹の星座には、女神ヘラの命令で勇者ヘラクレスと闘ったものの、結局は退治されてしまったという神話が残っています。

